

# たつのまち 議会 だより



辰野町イメージキャラクター  
びっかりちゃん

編集・辰野町議会広報編集委員会  
発行・辰野町議会  
発行日・令和4年2月1日



辰野町議会



Center of Japan  
36° 07' 00" N 138° 07' 00" E

日本のど真ん中  
信州辰野町

## 新たに2議員を迎え 令和3年度12月定例会 各補正予算可決

ほたるの里中学生議会開催	2
11月臨時会・12月定例会報告	4
総務産業委員会レポート	6
福祉教育委員会レポート	7
一般質問	8
議会研修レポート	15
町民の声	16



雪の天竜川 (いいまちたつの知らせ隊)

# 中学生議会開催

11月1日役場議場にて、議会主催の中学生議会が昨年に引き続き開催されました。

昨年の中学生議会に臨んだ生徒から「とても良い経験ができた」との感想をいただきました。今年はコロナウイルス感染防止対策を取りながら、昨年より減員して行いました。

中学生の立場から町政を考え、より住みやすい町づくりへの質問・提案が出されました。

①質問内容（詳細は広報たつの12月号）／②議会に臨む（臨んだ）時の気持ち／③将来の夢



おざわ ゆずき 議員  
小澤 ゆず 議員  
(辰野中学校)

- ①交通手段として周遊バスを
- ②責任を感じながら臨んだ。
- ③ヘアメイクなどの美容系の職業



やがさき ゆうほう 議員  
矢ヶ崎 悠輔 議員  
(辰野中学校)

- ①辰野駅の活性化を
- ②議員になりきって臨みたい。
- ③まだ考えていないので、しっかりと考えていきたい。



いのうえ りょうじ 議員  
井上 怜治 議員  
(辰野中学校)

- ①商店街の駐車場と歩道の整備を
- ②自分の考えが伝わるか不安だ。
- ③エンジニア



おおもり れあ 議員  
大森 伶杏 議員  
(辰野中学校)

- ①辰中前の交差点を安全に
- ②意見が言える機会がいただけてうれしい。
- ③歯科医



ふじさわ みずき 議員  
藤澤 瑞樹 議員  
(辰野中学校)

- ①地球温暖化に配慮した街づくりを
- ②しっかりと意見を言おう。
- ③興味を持ち、やりたいと思った職業



ふくしま みゆう 議員  
福島 未悠 議員  
(辰野中学校)

- ①宮木駅周辺に時計の設置を
- ②緊張したが貴重な経験でうれしかった。
- ③薬剤師

今年は10人の中学生議員が登壇しました。



緊張した面持ちで、  
町長や教育長に  
質問しました。



こばやし さえ  
**小林 紗英** 議員  
(両小野中学校)

- ①花火を打ち上げて元気に
- ②ありがたい経験なので、緊張するけど楽しみたい。
- ③情報を社会のために活用できる職業



みやはら かおり  
**宮原 薫子** 議員  
(辰野中学校)

- ①無人駅に電光掲示板を
- ②自分の意見しっかり伝えたい。
- ③高校や大学で幅広く学んでから考えたい。



まきぶち ひびき  
**巻瀨 響稀** 議員  
(辰野中学校)

- ①町の知名度の向上を
- ②自分の故郷を多くの人に知ってもらいたい。
- ③車の整備等、社会の役に立つ職業



くらさわ たくや  
**倉澤 拓弥** 議員  
(両小野中学校)

- ①遊歩道危険個所の補修を
- ②貴重な体験でワクワクする。
- ③世界に夢と希望を与える人

### 町がすぐに対応してくれました

- ・福島さんの質問に対して  
駅から学校間の通学路に時計の設置  
皆で設置場所を現地調査しました。



- ・倉澤さんの質問に対して  
危険な小野春宮の遊歩道整備  
こんなにもきれいに修復されました。



### 議会を傍聴して



4名の議員の皆様には、質問づくりの前段階で地方自治の学習に講師としてご来校いただきました。感謝申し上げます。議会当日は、答弁に立たれた皆様方が中学生議員の質問に対して現地確認等を丁寧にされてお話ししてくださり、中学生への現実との出会わせと共に中学生への期待の大きさを感じました。ありがとうございました。  
辰野中学校 矢島和明校長先生



地方自治や行政の仕組み等は、公民的分野で学習しますが、机上の学習に終始してしまいがちです。今回、町議の皆様に出前授業をしていただき、代表生徒が実際の議場に登壇するという貴重な経験をさせていただきました。議場の厳かな雰囲気、生徒自身も緊張の面持ちでしたが、閉会後の生徒たちの達成感に満ちあふれた顔が今でも印象に残っています。  
辰野中学校キャリア教育担当  
広瀬直弘先生



今回の活動を通して、生徒が質問を考えていく過程で、地域の課題を学年全体で見つけていくことができました。中学生にとっての身近な課題を、生活に一番近い町議会で提案できたことは、地域に生きる自覚や意識をより高めることにつながりました。議員の方々の丁寧な支援と、行政の方々の暖かい答弁に感謝いたします。  
両小野中学校生徒会担当  
横山貴士先生

# 11月臨時会・12月定例会で全議案を可決

第9回臨時会（11/19 2議案・一般会計補正予算、副町長選任同意）

第10回定例会（11/30～12/15 条例改正、補正予算等16議案 他）

## 令和3年度一般会計補正予算

総額  
5億8千万円

### ●コロナ対策関連 4億3,164万円

項目	補正予算額	内容
商業者支援 (飲食業関連以外)	1,200万円	「信州の安心なお店」認証の町内に店舗を有する理美容業、クリーニング、療術業などの商業者に1店舗20万円交付
宿泊助成(追加)	800万円	町内の対象宿泊施設利用者に1人1泊3,000円割引を補助
庁舎、町民会館改修	1,175万円	庁舎無線LAN工事、町民会館大会議室改修工事
ワクチン接種	4,657万円	3回目の接種予算
18才以下への臨時特別給付(国事業)	1億2,642万円	1人5万円の現金先行支給分 (残る5万円は、後に予算措置し現金給付の予定)
低所得者臨時特別給付金(国事業)	2億2,690万円	住民税非課税世帯またはこれと同様の世帯に1世帯当たり10万円給付

### ●災害復旧関連 1億3,726万円

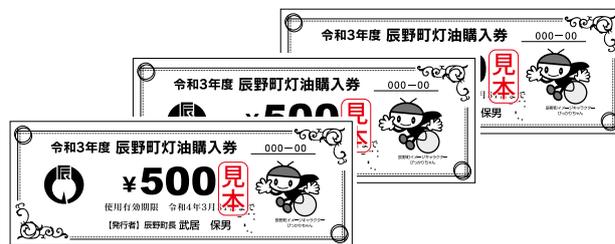
項目	補正予算額	内容
災害復旧工事費等 (11月臨時会分)	5,350万円	土木施設関係災害復旧事業費(国庫補助)4,400万円、区重機借上げ分200万円、災害廃棄物集積場関係750万円
シダレグリ災害復旧	400万円	小野シダレグリ自生地災害復旧工事費
農業施設災害復旧	7,976万円	農業施設、農地災害復旧事業費(国庫補助)

### ●その他の補正予算(主なもの)

項目	補正予算額	内容
灯油購入券	860万円	住民税非課税で生活保護世帯、母子・父子家庭、75才以上のみ世帯、重度障がい者か要介護4・5認定者と同居する世帯に1世帯1万円分の灯油購入券を交付
空き家改修・解体	420万円	対象事業が予定より増えた為、補助予算額を増加



災害復旧工事 沢底 青山地区



灯油購入券

## 令和3年度特別会計補正予算(主なもの)

名称	補正予算額	内容
上水道会計補正第4号	1,100万円	横川踏切下の配水管を石綿管から改良する設計費用
下水道会計補正第1号	150万円	被災した下横川農集排施設に対する保険など
辰野病院会計補正第1号	2,066万円	医師・看護師増員、ケアマネージャー配置など

## 条例改正

可決した主な条例の一部改正の概要は以下のとおりです。

条例名(略称)	改正内容
公共下水道受益者負担金条例	「辰野北部」「沢底」農集排を公共下水道に接続することに伴う改正
農業集落排水処理施設管理条例	同上
特定教育・保育運営基準条例	内閣府令改正に伴い電磁的方法で申請や記録が出来るようにする改正
町立図書館条例	現在の小野図書館を廃止する為の改正

## その他の議案

議案名(略称)	内容
副町長選任	山田勝己氏を再任する提案
公園施設長寿命化工事契約変更	荒神山町民体育館工事請負契約を増工により518万円増額変更(3回目)

## 陳情審査

陳情・請願		委員会 審査結果	本会議 採決	意見書 提出
陳情第10号	国土交通省告示第98号の履行に関する陳情書	採択	採択	なし
陳情第11号	最低制限価格の設定に関する陳情書	採択	採択	なし
陳情第12号	耐震診断・耐震改修に関する陳情書	採択	採択	なし
陳情第13号	新型コロナ禍による米の需給悪化の改善と米価下落の歯止め策を求める陳情書	採択	採択	あり
陳情第16号	新型コロナウイルスの影響による米の需給悪化の改善と米価下落・資材高騰への対策を求める陳情	採択	採択	あり
陳情第14号	消費税インボイス制度の実施中止を求める意見書提出についての陳情書	継続審査	継続審査	なし
	【継続審査に反対(向山)】 陳情を採択すべきだ。制度導入で農業者や中小零細業者に多大な事務負担がかかり、納税義務が生じ、事業継続が困難になる。一旦実施を中止し、抜本的な見直しをすべきだ。6月議会でも同趣旨の陳情を継続審査としており、議会の態度を示すべきだ。 【継続審査に賛成(小澤)】 法案は通っており、今年10月1日から登録受付が始まっている。中止は色々な分野に影響が出る。制度は理論的にならなっているが、事業者によってはデメリットも考えられる。実施までに時間があり不透明なところもあることから、継続審査に賛成する。			
請願第15号	辰野高校の定員数及び学級数の維持継続を求める請願書	採択	採択	あり

【賛否が分かれた議案への各議員の賛否は、以下のとおり(敬称略)】

○陳情第14号 (継続審査反対) 吉沢、瀬戸、向山

(継続審査賛成) 松澤、山寺、矢ヶ崎、津谷、池田、樋口、舟橋、小澤、小林、古村

## 発議した意見書

### ○国に米作農家支援を求める意見書(要旨)

1. 政府は、コロナ禍による需要消失が招いた過剰在庫を緊急に買い入れ、今年度産米に対する過大な生産調整を回避する事。
2. 買い入れた米を、食糧支援に活用すること。
3. 外国産米の輸入数量を調整すること。
4. 燃料や肥料等が高騰するなか、営農継続が図られるよう、給付金などの対策を講じること。



### ○県教委に辰野高校の定員・定数維持を求める意見書(要旨)

- ・県は、辰野高校について、高校再編後も募集定員120人以上を継続すること。

## 条例審査

### 議案第3号

公共下水道事業受益者負担に関する条例の一部を改正する条例について

都市計画下水道事業による排水区域の土地のうち大字上島の一部、大字伊那富の一部、大字辰野の一部、大字沢底地籍の土地を辰野第2負担区に加えるもの。

問 地元説明は実施したのか。

答 利用料が変わるので各区に説明をしている。

### 審査結果

全員一致で可決すべきものと決しました。

### 議案第4号

農業集落排水処理施設の管理に関する条例の一部を改正する条例について

排水処理区域から沢底地区と辰野北部地区を削るもの。

問 農集排対象地区の接続状況は。

答 沢底地区97.1% 辰野北部地区94.8%。

問 利用料の変化は。

答 平均家庭（4人世帯）で上水道を2.3㎡以上使うと高くなる。

### 審査結果

全員一致で可決すべきものと決しました。

## 陳情審査

### 陳情第10号

国土交通省告示第98号の履行に関する陳情書  
官庁施設的设计業務等積算要領に基づく算定が行われるよう陳情するもの。  
委員全員一致で採択すべきものと決しました。

### 陳情第11号

最低価格の設定に関する陳情書  
最低制限価格の設定を発注予定額の90%以上に設定するよう陳情するもの。  
委員全員一致で採択すべきものと決しました。

### 陳情第12号

耐震診断・耐震改修に関する陳情書  
業務報酬基準に準拠した契約と積算基準に基づく業務報酬算定を求めるもの。  
委員全員一致で採択すべきものと決しました。

### 陳情第13号

新型コロナ禍による米の需給悪化の改善と米価下落の歯止め策を求める陳情書  
生活困窮者への食糧支援、外国産米の輸入数量調整、農家や営農組合に給付金などの支援を求めるもの。  
委員全員一致で採択すべきものと決しました。  
意見書を陳情第16号と合わせて提出

### 陳情第14号

消費税インボイス制度の実施中止を求める意見書提出についての陳情書  
消費税のインボイス制度実施の中止を求めるもの。  
採択の結果、継続審査にすべきものと決しました。  
(継続審査に賛成5 反対1)

### 陳情第16号

新型コロナウイルスの影響による米の需給悪化の改善と米価下落・資材高騰への対策を求める陳情  
需要回復・拡大対策の継続と、経費高騰の中で営農継続や経営安定に必要な対策を求めるもの。  
委員全員一致で採択すべきものと決しました。  
意見書を陳情第13号と合わせて提出



委員会

## 条例審査

### 議案第2号 国民健康保険条例の一部改正

分娩の際に重度の脳性麻痺を発症してしまった子どもの家庭の経済的負担を、速やかに補償する制度の見直しによるもの。

**問** 掛け金の引き下げに対し、給付額を確保するためのものか。

**答** そのとおりであり、下がった給付分を補填するものである。

**問** 分娩機関に掛かる際に、制度に加入しているか妊婦さんはわかるのか。

**答** 長野県内では、ほぼ100%が制度に登録されている。

**審査結果** 全員一致で可決すべきものと決しました。

### 議案第5号 特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の運営に関する基準を定める条例の一部改正

デジタル化の推進に伴い、電磁的方法による申請を可能にするもの。

**問** 電磁的方法の提供を受ける人と、受けない人の管理は。

**答** 電磁的媒体と紙媒体を、しばらく併用する。

**審査結果** 全員一致で可決すべきものと決しました。

### 議案第6号 辰野町立図書館条例の一部改正

辰野町立小野図書館の閉館したことに伴う条例の改正。

**問** 今回の廃止に等しい閉館は、議会の議決を得て行うべきではなかったか。

**答** 教育委員会は廃止の権限や、議会に対して条例を提出する権限を持っていない。

**意見** 今後、教育施設を廃止に等しい閉館とする場合は、議会の議決を得てから行うべきだ。

**審査結果** 全員一致で可決すべきものと決しました。



委員会

## 請願審査

### 請願第15号 辰野高校の定数及び学級数の維持、継続を求める請願

◇主な意見

- ①議会として挙げる意味はある。県教委の進め方に問題はある。
- ②請願を出すことは、私達にも責任を伴う。魅力ある学校づくりを一緒に考えていく必要がある。
- ③同窓会、議会が町と一体となって、辰野高校を残すことを真剣に考えるべき。

全員一致で採択すべきとし、意見書を提出することに決しました。



辰野高校

一般質問には12名の議員が登壇いたしました。  
ぜひ各議員の内容をご覧ください。

ホテルが飛び交う自然豊かなまち		
今回のプレミアム付商品券発行について	松澤	P9
武居町政2期目スタートの政策について	池田	P10
荒神山スポーツ公園の活性化について	池田	P10
町長2期目に臨む基本的姿勢について	向山	P11
みんなが活躍できるまち		
第6次総合計画のど真ん中プロジェクトについて	山寺	P9
性の多様性、パートナーシップ宣言について	向山	P11
いつまでも健やかに暮らし続けられるまち		
たつのまち保健センターの後利用について	山寺	P9
利用者にやさしい役場庁舎への改善について	吉澤	P10
移動支援の強化について	吉澤	P10
住宅介護者支援の拡充と持続可能な支援計画の策定について	津谷	P11
高齢者の社会的孤立支援について	津谷	P11
ファミリーサポートセンターの運営、実施について	小林	P12
灯油購入券交付事業及び原油価格高騰対策支援について	瀬戸	P12
病児・病後児保育を辰野町内で実施を	瀬戸	P12
児童発達支援について	舟橋	P13
町民の移動手段確保について	樋口	P14



・全ての項目はホームページで閲覧できます。  
・質問は「辰野町第6次総合計画前期基本計画」の「将来目標」の項目に沿って区分けしています。

次代を担う人材が育つまち		
未来に向けた新しい保育・教育モデル整備基本構想(案)の進捗について	池田	P10
小学校における教科担任制について	向山	P11
信州豊南短期大学と辰野町の提携関係強化について	小林	P12
学校設備緊急点検の結果について	小林	P12
児童・学生への支援について	瀬戸	P12
高校再編と辰野高校存続についての支援について	瀬戸	P12
川島小学校は本当に統合されるのか	小澤	P13
川島区小学校児童の通学環境整備を	小澤	P13
辰野町の歴史伝承について	舟橋	P13
活力と魅力ある仕事のあるまち		
商業地域空き店舗対策事業について	山寺	P9
町を発展させる方向へと誘う町長の方針について	松澤	P9
農福連携について	舟橋	P13
安全で快適に暮らし続けられるまち		
荒神山武道館のトイレの改修について	山寺	P9
減災へ向けての姿勢について	松澤	P9
下水道マンホール蓋の老朽化問題について	池田	P10
被害者支援の拡充について	吉澤	P10
板沢地区への最終処分場建設計画について	向山	P11
町民と行政が一体となった道路の改良の進捗	小林	P12
町長が掲げる防災関連の政策について	古村	P14
消防団の充実強化について	古村	P14
町組織の見直しについて	古村	P14
町所有施設の長寿命化について	樋口	P14
太陽光発電の現状について	樋口	P14
ゴミ収集について	樋口	P14

## 新人議員の抱負

令和3年10月31日執行の辰野町議会議員補欠選挙で、2名の方が当選されました。



小林 テル子 議員

補欠選挙では多くの方とお話をする機会を得ました。真剣に町のことを考え熱く語る皆さんの姿に触れ、町に寄せる思いが沢山ある事に改めて気付かされました。

新型コロナウイルス感染拡大の収束が見えない昨今の状況ですが、できるだけ人と会って話す機会が大切と考えています。多くの人と会って話し、今何が必要なのかを共に考えながら、議会に提案をしたいと思っております。

子ども若もの、そして町民にとって魅力のある町にしていきたいです。



古村 幹夫 議員

今回の選挙に向けた準備や、議員としての活動を通じて多くの皆様と接する中で、この町には様々なアイデアや、素晴らしい行動力を備えた方がたくさんお住まいになっていると実感することができました。皆さんの頑張る姿を見ると、辰野町はこれから大きく変わろうとする力を蓄えている最中なのだと感じられます。

皆さんの思いを町政に届け、住んでいて良かったと思えるようなまちづくりに取り組んでまいります。

ど真ん中プロジェクトを町の重要課題に取り上げた理由は

**町長**

町民が主体的に活躍する場を創るため



やまうち  
はるみ  
議員

**問** ど真ん中プロジェクトの未来会議とは。

**課長** 「試してやって共に創る」という共創の場である。第6次総合計画の、町の将来像を直接推進する取り組みの場であると考えている。

**問** ど真ん中未来会議の活動が具体的に見えてこないが。

**課長** 1年目は7つのプロジェクトが出来た。思いを形にするために、関係者と問題を集約して、来年度に繋げたい。

#### 保健福祉センターの後利用は

**問** 保健福祉センター（ぬくもりの里）の後利用に早急に結論を出すべきと思うが。

**課長** 複数の団体から利用したいという話が来ている。

**問** 隣接する老朽化の著しい老人福祉センターの移設要望があるが。

**課長** それも含めて、将来を見据えた活用方法を、今回の質問を良い機会と捉え、再度検討していく。

#### 荒神山武道館横のトイレの改修は

**問** 8月の女団連の町政懇談会でも指摘があり、ウォーキングで公園を利用している方、子ども連れのお母さんなどからも、早期の改修要望が出ているが。

**課長** 維持管理の中で対応を研究したい。

#### 商業地域の空き店舗対策事業は

**問** 現在下辰野商店街の空き店舗に、新規開店した店舗数は。また、サテライトオフィスは開設されたか。

**課長** 新規開店した店は25店舗。サテライトオフィスは、令和4年1月に1件開設予定。

**問** 開店した店舗を、町民に周知してもらう対策は。

**課長** コロナの状況にもよるが、開店した店を知ってもらうイベントの企画は、積極的に行いたい。



新規開店した商店街店舗

町の発展について町長の考えは

**町長**

伴走型の事業者支援の強化を図る



まつざわ  
ちよこ  
議員

**問** 商工会の会員数が約半数にまで減少した今後の町の発展をどう考えるか。

**町長** 以前は850会員という数を誇っていたが、経済状況の変化もあり、現在は動向を注視していかなければならないと心配している。また人口減少と共に経営者の高齢化が進み、事業継承や廃業の問題が出ている。しかし事業者との意見交換では、町の活気や賑わいを取り戻したいとか、これからも事業を続けていきたいとの前向きな意志の経営者が多くいる。多くの課題はあるが、町の産業振興対策に基づき、併せて商工会や金融機関、各種専門機関とも連携を図り、伴走型の事業者支援を強化していく。

**問** その施策は。

**課長** 2名の企業相談員が個々の相談に応じたり、キャリアコンサルタントが雇用促進事業を手掛け、求職と求人とのマッチングなどを行っている。また補助事業や小規模事業者向けの公共工事の案内、技術習得のための教育講座等を進めている。



辰野町商工会

#### 減災に向けて取り組んでいることは

**問** 減災に向けて取り組んでいる施策とその進捗状況は。

**課長** 中学生以上には自分の身を守る大切さと同時に、助ける側になっていくのだという防災教育を行っていく。また幼少期から様々な角度で自分の命を守る教育を行っている。

#### プレミアム付商品券の販売方法は

**問** 今回の販売について不公平感があり苦情が出たが。

**課長** 購入できなかった皆様には申し訳なく思っている。この商品券は一刻も早く売り切る販売を検討したものだった。今後同様なことをする場合には、公平な方法を考えたい。

池田睦雄  
議員町長の「共創」に  
込める思いは**町長**  
人口減少でも未来志向  
で幸せな町づくり**問** 住民と共に未来を創造する共創の背景は。**町長** 人口減少を緩やかにする取り組みは、目立った効果が出ていない。人口減少が続いても幸せに暮らせ、子どもから大人まで未来志向の町にしたい。第6次総合計画で多様な人々の新たな価値創造のため、共創で知恵を出し合い、結果を出していきたい。

若者たちの意見交換：エアビー交流会

**問** 人口減少への共創は。**課長** 生産年齢人口を増やす。若者がチャレンジできる共創の町としたい。**問** 少子高齢化への共創は。**課長** 安心して子どもを産み育て、高齢化は地域包括ケアシステムの構築と拡充の共創活動を支援する。**問** 商工業、農業、林業への共創は。**課長** 商工業は民泊支援企業エアビーアンドビーと連携するなど、共創パートナーを募集し共創人口を増やす。農業は町内農産物の高付加価値化を図る。林業は木質エネルギー資源を活用し、森の里親事業や緑の少年団事業を計画したい。

### 平出保育園の東小併設要望の進捗は

**問** 保育・教育モデル整備基本構想（案）の進捗は。**課長** 5年後の東小併設が東部保育園への統合の2案を検討中。再整備は出来るだけ前倒ししたい。

### 荒神山スポーツ公園の活性化について

**問** 塩尻市小坂田公園再整備計画の受け止めは。**課長** 詳しくは把握していないが、財政力のある市の事業と受け止めている。公園整備は財政力の弱い辰野町なりの考えで進めている。**要望** 財政力以外で類似点が多く、お金のかからない方法が塩尻市の計画にもある。調査し、荒神山公園の活性化に向けて参考にしてほしい。吉澤光雄  
議員デマンドタクシー  
の抜本的見直しを**町長**  
システム変更が  
必要と考える**問** 定時停留所間運行の今のシステムには無理がある。実利用者が138人で、費用対効果も課題。対象者を交通弱者に絞り、ドアツードア方式にするなど、見直しが必要ではないか。**課長** 状況とニーズが大きく変わった。高齢者が自ら運転しなくても暮らしていけるよう、使いやすい予約やダイヤ、ドアツードアなどの課題を検討し、6月の交通会議で改善方針を提案する予定。

デマンドタクシー停留所

### 福祉タクシー券の拡充を

**問** 近隣5市町村は、タクシーにも使える利用券を課税世帯や要介護認定者、介護する人や免許返納者にも交付している。市街地から遠い地区に割増支給もしている。当町の交付対象が一番狭い。対象者を広げ、町の中心から遠い地区に割増支給してはどうか。**課長** 近隣市町村の状況を確認し、考えたい。

### 床下浸水世帯への支援を

**問** 床下浸水世帯は1カ月以上かけて泥出しなどの片づけを強いられた。古い住宅の基礎がだめになり家を取り壊す方もいるが、公的支援はほとんどない。義援金も配分されない。せめて隣町のように、見舞金を支給できないか。**課長** 床下浸水まで見舞金を出す市町村は少ない。変更は考えていないが、被災者のご苦労は見ており見直しの必要は感じる。今後研究する。

### 役場障がい者駐車スペースに屋根を

**課長** 通行の支障になり、接触事故の心配もある。要望が多ければ検討したいが、設置の考えはない。

### 二重苦の米農家に支援を

**問** コロナで外食などの需要が無くなり、米価が暴落。米も不作。農家が作付け意欲を無くさないよう、コロナ交付金も活用して支援を。**課長** 現時点で町独自の補填は考えていない。

板沢最終処分場  
調査の結果は向山  
ひかる  
議員

町長

承服できない点が多い

**町長** 地下の浅い部分の解析であり、井出の清水への影響がわかる調査でなくて残念。

**問** 今後どう対応するのか。

**課長** これからも建設反対の立場を鮮明に、計画の白紙撤回を求めている。

## 町長 2 期目の基本姿勢は

**町長** 町民の幸せは、安心・安全が土台。災害への備え、新型コロナ対策の徹底などを着実に進める。町の誇りである豊かな自然、美しい景観を守り、子どもたちや次の世代に残していく。将来に夢と希望を持てる辰野町をつくっていききたい。

## 性の多様性、教育の現状と課題は

**教育長** 小学校では多様性を認める指導をし、中学校では教科書でも扱っている。先日の講演会をきっかけに多様な性の在り方への理解を深めた。性自認に悩むなどの生徒がいるという認識でいる。帽子やカバンのデザイン等を統一していく。



辰野中学校での性の多様性に関する講演会（写真：辰野町）

## パートナーシップ宣言制度への取り組みは

**課長** 庁内に人権施策推進本部を設置し、対応を進める。子どもも含めたパートナーシップ・ファミリーシップ宣言や夫婦別姓についての対応も検討していく。

## 小学校の教科担任制、施行の成果と今後の課題は

**教育長** 昨年を準備期間とし、今年度から施行したが、教員配置が難しく、一部にとどまっている。児童から「授業が面白くなった」という声が多い。生徒指導上の課題にも、多くの職員で対応できた。働き方改革にもつなげたいが、国・県の方針が明確でなく、町費での綱渡りの対応になっている。

辰野町における  
ヤングケアラー  
実態調査の実施は津谷  
あきら  
議員

町長

正確な調査は難しい  
国や県の調査で推測

在宅介護者支援の拡充と持続可能な支援計画の策定は

**問** 在宅介護者が介護疲れを起こすことで、要介護者と共倒れになってしまう。精神的に疲れ切った結果、介護うつや、虐待に発展するケースもある。介護を行っている人を一時的に解放し、休みを取ってもらうレスパイト支援の状況と取り組みの強化は。



**課長** 心身のリフレッシュを目的とした旅行やショートステイ等の補助がある。利用者が少ないため、周知を優先する。

**問** 全てのケアラーを町全体で支えていくために、辰野版ケアラー支援計画の策定の考えは。

**課長** 第8期介護保険事業計画の中で、在宅介護者への支援に対する実施支援事業を示しているが、ダブルケア等が含まれていない。まずは居宅介護支援事業所への聞き取りや、新生児訪問時にて実態把握から努めていく。



## 高齢者の社会的孤立支援は

**問** 高齢者の孤立や孤独を防ぐために、社会参加活動を通じて人との関わりは必要。気軽に利用できるように高齢者の社会参加活動の補助は。

**課長** 地域介護予防支援事業があり、介護予防の観点だけではなく、高齢者の社会参加活動を促す意味もある。積極的に社会活動参加をしてもらいたい。今ある制度をもう少し使いやすいものにできるか検討する。

**問** 高齢者の多世代交流やフレイル予防に大きく期待できる e スポーツの導入と普及支援は。

**課長** 脳の活性化や多世代交流、孤立からの解消が期待できる。先進事例を見ながら、ニーズに応じて講座へ加えることを検討する。

**要望** 福祉をミッションとした地域おこし協力隊の導入など、更なる高齢者の社会的参加活動の拡充を。

小林  
テル子  
議員トビチ商店街に  
ファミリーサポートを

町長

まずは出張ファミサポ  
などから対応する

**問** ファミリーサポートセンターの4年間の運営実績は。

**課長** 子どもを預かってほしい方と預かる事のできる方をマッチングさせ育児の援助を行う有償援助活動（町が利用料半額負担）。見込みほど利用がなかった。利用した方からは、助けてもらえてありがたかったとの声が寄せられている。

**問** 子育ての大事な施策なので、子育て支援センターから独立して、町民の目に留まるトビチ商店街にファミサポセンターを置いては。

**課長** ファミサポの周知はまだ不十分であるが、来年予算化は厳しい。出張ファミサポや他の子育て支援施策との併用を考えていく。



子育て支援センター

### 信州豊南短期大学と町の提携関係強化を

**問** 短大生の卒業後の就職先を把握しているか。

**課長** 令和3年町内への就職者は94中3名。

**問** 人口減少の対策として関係を強めて短大生が町に魅力を見出し就職に至る取り組みを。

**課長** 大学側と認識一致が図れたので、保育実習、インターンシップ等に加え関与する機会を増やす。

### 長野市通明小学校児童石碑下敷き事故を受けて

**教育長** 町内学校施設の点検を実施した。危険箇所1件あり、すぐに対応を指示した。

### 辰野町道路網計画が答申されたが重点課題は

**課長** はじめて策定された辰野町道路網計画である。重要課題は渋滞解消、通過交通対策、災害対応、その他の4点。実現可能性を鑑み進めていく。

**意見** 道路網計画が策定されたことは評価できるが、国道153号主要部分が計画に含まれていない。地域住民としては残念である。

**問** 県道と地辰野線の下田踏切は拡張されるか。

**課長** 現在拡張に向け対応中である。

瀬戸  
純  
議員福祉施設や  
施設園芸農家等へ  
暖房費補助を

町長

国の動向を見て  
対応したい

灯油購入券（福祉灯油）事業の交付対象者拡大と基準灯油価格の引き下げを

**問** 全ての非課税世帯・就学援助金受給世帯等への支援拡大と、消費税5%時の交付基準・灯油価格（91円）の引き下げを。

**課長** 著しく生活が困難な世帯が対象。交付対象基準の変更は考えていないが、条件は近隣市町村の状況を見て検討したい。

**要望** 「他市町村の状況を検討して」との答弁が多い。辰野町から始める、辰野町スタートの町民に寄り添った事業を。

### 本年度も中学校での放課後学習支援の実施を

**教育長** 昨年は2月末まで実施し、好評だった。現段階では考えていないが学校側と相談したい。支援員が見つからないので、地域住民の協力をもらえるとありがたい。

コロナ禍で小・中学校の給食費無償化が広がっているが町の考えは

**課長** 年間約8,500万円必要。予算確保が難しい。

### 就学援助制度クラブ活動費（部活費）等の拡充を

**課長** 昨年から受給者資格拡大に取り組んでいる。支給拡大の考えはない。部活費用が保護者の負担にならないよう学校に周知する。

### 上伊那の高校再編・辰野高校存続に向けた町の考えは

**問** 中学卒業生数に対する公立全日制高校の募集定数比率が上伊那地域は68.1%でとても低い。高校再編で学校数・クラス数が減り、他地域への流出がますます進む。通学費等の問題や現在でも特色ある学校づくりを進めている各高校での少人数・クラス数増を行うべきと考えるが。

**町長** 再編計画の中で地域の特色を生かした、学校の魅力づくりを支援していきたい。定員・学級数の維持を県教育委員会に要望してきた。



2021年10月8日  
辰野高校同窓会説明会での県教委資料より

## 川島小統合に向け 検討を進める考え に変更はないか

町長

教育委員会と統合に  
向け準備を進めたい



小澤 睦美  
議員

川島小学校は、本当に統合されるのか

問 2020年度からの学習指導要領による学びの場は川島小学校で確保されているか。

教育長 担任と児童数が1人では、子ども達同士の意見交換の中で深い学びを目指している学習指導要領の目的達成は厳しい面がある。

問 「存続断念せざるを得ない」の「せざるを得ない」の意味は。

町長 川島小を残したい思いは同じ。一方で、多くの考えに触れる機会を児童に与えられない状態を続けるわけにはいかない。この状況を改善できない以上、存続断念はやむを得ないと判断した。

教育長 できれば学校を残したい思いは町長と同じ。しかし、子どもの学びを考えれば統合していくのではないかという、苦渋の選択の表現と理解していただきたい。

問 統合に対して町長の、はっきりした真意を。

町長 存続断念の考えは変わってはいない。今後教育委員会と共に他校との統合に向けて検討準備を進めていかなければいけないと考えている。

問 総合教育会議はいつ開催するのか。

課長 年が開けてから開催したい。



統合が検討されている川島小学校

川島区小学校児童の通学環境整備を

問 小規模特認校児童と同等のバス利用・通学補助金の支給について町長との協議結果は。

教育長 町長と今議会終了後、協議したい。

問 現在辰野中学校に通学する中学生が使用しているスクールバスに、川島区から西小学校に通学している児童も利用できないか。

教育長 家庭の負担は承知している。補助金を交付するのか定期券を購入してもらうか、このスクールバスも含めて町長とも詰め、また教育委員会としても協議をしていきたい。

## 児童発達支援 センターの 設置状況は

教育長

令和5年度中の設置検討を  
しているが厳しい状況



舟橋 秀仁  
議員

問 町内の障がい児数は。

課長 令和3年11月時点で未就学児6名、小学生16名、中学生22名、高校生14名、計58名。

問 センター設置の進捗状況は。

課長 現存の施設を検討しているが、設置基準を満たすための床面積やセンター内に必要な施設、また人員確保が厳しく容易ではない。しかし、辰野町単独での設置はせざるを得ないと考えている。ぬくもりの里の利用等場所の選定も含め、着実に進めていきたい。

要望 町の重要施策である。令和5年度末までの設置に向けた進捗管理を徹底すること。

問 障がい児は、家族が希望すれば町内の保育園、小学校に通えるのか。

課長 保護者の不安や心配事の軽減を図るために子育て支援会議を行い、医療機関や療育施設とも連携を取り、状況に応じた対応をしている。

農福連携は

問 町としての取り組みは。

課長 町内には就労継続支援B型施設が2カ所あり、約30名が通っている。上伊那圏域障がい者総合支援センターきらりあ等の協力で、本人に応じた支援に取り組んでいるが、農福連携への取り組みは考えていない。

辰野町の歴史伝承を

問 中学校の授業で町の歴史を学ぶ機会が作れないか。

教育長 提案は大賛成。昨年辰野中学校では、一日かけて辰野町探検を行なったが、それを更に深めたいと考えている。歴史、自然、文化を含めた小中学生にもわかりやすい副読本の編纂も検討したい。

問 町ゆかりの人物名鑑を作れないか。

教育長 多くの著名人を輩出している。一方人物への評価も様々であり、慎重に検討する必要がある。著名人リストを整理する必要は感じている。



『辰野町の指定文化財』  
(教育委員会発行)



古村 幹夫 議員

## 消防団員に対する 年額報酬、出勤報酬 の見直しを

**町長**  
令和4年度からの  
改定を目指していく

### 町の危機管理は

**問** 町長が考える民間有識者による災害支援チームとはどのようなものか。

**町長** 災害ボランティア支援チーム、機動性のある緊急災害支援チーム、各地区や災害現場において必要なアドバイスをし、活動を支援していく専門家チームを考えている。

**問** 辰野町消防団の現状は。

**課長** 定数は496名、実際の団員数は451名。当年度の新入団員は7名にとどまった。

**問** 消防団を中核とした地域防災力充実強化に関する法律にもとづく具体的な取り組みは。

**課長** 消防団内部では、行事・活動の見直しなどをおこない団員の負担軽減に取り組んでいる。町としては、学生消防団認証制度による就職支援や団員による出前講座などを通じ、住民への理解を深めてもらっている。また役場職員の採用の際に加入を呼びかけている。



水防活動中の消防団員

**問** 消防団活動にともなう経費は、地区の負担を無くし、全額町が負うべきものと考えているか。

**課長** 今後区長会などを通じ各区と議論を深め、消防費の扱いや費用負担のあり方について相談、研究していく。

**問** 危機管理体制強化のためにも役場組織の見直しや職員の適正配置が必要では。

**副町長** 大課制は所管業務が多岐にわたり、複雑化して管理が難しいという欠点もあるが、関連事業の連携やサービス強化という利点もある。職員の負担が増加している事は認識している。業務の効率化とあわせて、今後も必要な組織体制の見直しを図ることで対応していく。



樋口 博美 議員

## 山林伐採を伴う 太陽光発電施設 建設規制を

**町長**  
災害発生の可能性も  
あり、検討する

### 太陽光発電の現状と課題は

**問** 太陽光発電の施設設置の現状は。

**課長** 個人で管理の出来ない遊休荒廃地の利用などの面もあるが、地域への安心安全の担保や事業への理解、共存共栄、環境保全など問題は多い。

**問** 第6次総合計画における太陽光発電の考え方は。

**課長** ホタルが飛び交う環境の保全とあり、景観との調和をとった建設が必要。

**問** 投機目的の低圧発電施設の設置を規制すべき。

**課長** 近接した土地に複数設置すると大規模になる。同一案件とみなし対応する。

**問** 森林伐採を伴う開発、関係住民の合意の必要などを盛り込んだ条例改正は。

**課長** 木の伐採を伴う開発は災害誘発の心配もあり、本年度中の環境審議会で検討し、条例の改正も含めて考える。

### 町民の移動手段の確保は

**問** 移動手段はどの様に検討したのか。

**課長** 平成24年に辰野町地域交通ビジョンの基本方針を策定。

**問** 庁舎内に移動手段を検討する組織の設置は。

**課長** 現状を整理する中で、デマンドタクシーの利用拡大も含め、今ある地域交通会議で新たな地域交通のあり方について検討したい。

### 町有施設の長寿命化は

**問** 老人福祉センターの雨漏りはいつから認識しているか。

**課長** 7・8年前から確認して修繕してきたが、根本的な修繕は出来ていない。

**問** 老人福祉センターの建物は改修か建て替えか。

**課長** 保健センターの利用も含め今後検討する。

**問** 役場 ATM 横のトイレの改修は。

**課長** 町民の声が町に無いので改修予定はないが、新たな財源などあれば早期実現の道を模索したい。



役場 ATM 横のトイレ

### その他

・大型可燃ゴミ収集について

# 議会研修レポート

## 令和3年度伊北議員研修会（講演会）

- ◇月 日 令和3年10月8日（金）
- ◇場 所 辰野町第6会議室（リモート）
- ◇講演者 山岸絵美理氏（地方自治論、政治学他）  
大月短期大学経済学科准教授
- ◇演 題 「地方議会の問題点」について  
－議員のなり手不足を女性議員をめぐる現状と課題から考える－
- ◇内 容 地方議会の「なり手不足」の要因は、①住民の議会への関心、理解不足 ②選挙制度の課題 ③時間的・経済的な課題と分析。  
女性議員の少なさにも問題がある、と指摘された。

＜女性議員を増やすためには＞

- ①立候補、活動しやすい環境の整備
- ②候補者男女均等法の「努力」規定を「義務」へ法改正する。
- ③ハラスメント防止や選挙活動サポート
- ④出産、育児、介護等の両立支援を提案。

＜なぜ、女性議員が必要か＞

多様な経験や視点を政策に反映でき、住民にとってより住みやすい地域へ変えられる。



## 上伊那市町村議会議員研修（講演会）

- ◇月 日 令和3年10月22日（金）
- ◇場 所 箕輪町文化センター
- ◇講演者 神田文之氏（山梨県出身）  
（株）松本山雅 代表取締役社長
- ◇演 題 未来への夢と感動へチャレンジ  
松本山雅 FC の挑戦
- ◇内 容 松本山雅 FC がプロサッカーチームとして成長してきた過去、現在そして未来への夢を経営

者の立場から、クラブの目標を共有し、スポンサーに感謝し、ライバルを意識して成長する。さらに将来ビジョンをしっかりと持つことなどを話され、プロチームのポリシーを強く感じた。



# 各委員会の研修

## 総務産業常任委員会

### 下諏訪町赤砂崎公園整備事業の視察

- ◇月 日 令和3年11月22日（月）
- ◇目 的 公園を地域防災拠点とする施設の視察
- ◇結 果 この公園は平成22年度から令和元年度までの10年間をかけて整備され、総事業費は29億円を超える大型事業。  
季節感を楽しめ、町民の憩いの場となるように整備された公園内には、大規模な地震災害などの際に、住民の避難場所となることも想定し、防災ヘリポートや地下収納式トイレ、防災倉庫なども整備されている。  
また、テントとして使える遊具を設置するなど、様々な工夫が施されている。下諏訪町の担当者との意見交換をし、今後のまちづくりの参考となった。



（下諏訪町施設管理者から説明を受ける）

## 福祉教育常任委員会

### 辰野町社会福祉協議会と懇談会

- ◇月 日 令和3年11月9日（火）
- ◇目 的 地域包括ケアシステムの構築・深化に向けた調査・研究として、町が社協に委託した生活支援体制事業の進行状況や、新たに始めた地域助け合い事業「ゆいっこ」の情報共有や意見交換。
- ◇意見交換で見えてきた主な課題
  - ①生活支援体制事業を進めていくには地区社協をしっかりと機能させていくことが必要。
  - ②地域助け合い事業「ゆいっこ」は令和4年4月から正式運用。利用者とサポーターのマッチング、サポーター探しが今後の課題。
  - ③近隣の地域と比べると辰野町の社協の規模が小さい。地域福祉を推進する職員の補強が必要。



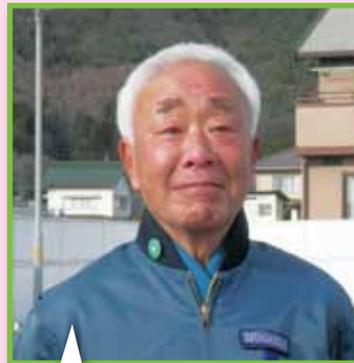
（辰野町老人福祉センターで意見交換）

小山 敏江さん(平出)



コロナ禍で止まってしまったスポーツイベントの完全再開を願います！競技での体力アップはもとより、仲間との交流はかけがえないものですよね。各々感染対策を万全に、思う存分楽しめる日々にしていきましょう。

保坂 豊國さん(樋口)



東京から移住 5 年目。辰野の静謐さと都会にはない濃密な地域の「絆」を日々気付かされております。

自然災害の多発、コロナ禍等をみると地域住民相互間の「絆」こそが最上の地域防災、危機管理ではないでしょうか。私たち一人一人が「絆」を意識し、行政との連帯こそが辰野町をより住み易いものとなると考えております。



伊藤 ゆかりさん(平出)

今年は末っ子の小学校入学で子ども三人が東小にお世話になり、御柱祭もあり何かと忙しい年になりそうです。御柱では記録係として楽しいお祭りの雰囲気をしっかり残したいと思います。

健康面では昨年から始めた土日の 6km 散歩は1年間続けられたので、今年は 10km を目指して頑張ります。

新しい年を迎えて  
それぞれの思いや町政へ望むこと



保育園に通う孫三人を預かり、忙しくも楽しい日々ですが、この先気になるのは、歩道の狭い通学路の安全性です。ぜひ改善をお願いします。

若い人の活躍、移住して来てくださる人達、小説の舞台になった事などうれしい話題もあります。

これから、さらに住みやすい温かみのある町になって欲しいです。

古村 真さん(沢底)



消防団の分団長として活動していますので、火災や昨年8月の大雨のような大きな災害のない穏やかな一年になってほしいと願っています。町には消防団員が活動しやすい環境を整えてほしいと思います。

野澤 重子さん(新町)



### 次回定例会のご案内 3月定例会予定

- 開 会 2/28(月)
- 一般質問 3/7(月)・8(火)
- 委員会審査 3/9(水)～11(金)
- 閉 会 3/17(木)

※確定した日程は議会ホームページ等でご確認ください

### 編集後記

町議会議員補欠選挙で当選された小林・古村両議員が、議会だよりの編集に加わりました。

町政をチェックし、提案していく議会活動をより充実していくために、皆さんからのご意見をお待ちしています。

議会広報編集委員 向山 光

皆様からのご意見・ご要望お待ちしております。お気軽に議会事務局までお寄せください。